

まちづくり講演会

「町なみとけんちくのはなし」 講師 東北芸術工科大学 准教授 志村 直愛 氏

全国で広がる「まちづくり」の波。

日光でも119号大通り沿いの整備事業を契機に、徐々に「まちづくり」の考え方や活動が拡がりつつあります。整備事業の進行や個別の建て替えの進むまちなかにおいては、特に「街並み」「景観」についてが重要な要素となっています。いま、私たちが考えなければならない課題です。

わたしの町。 私たちの街並み。・・・どうしよう。 そんな時、どうしても難しく、硬い話になりがちです。

そこで、今回は景観に造詣の深い鎌倉出身の志村先生をお招きして、鎌倉での活動の様子や様々な事例などをご紹介いただき、街並みと建築をやさしく学びます。素朴な疑問も大歓迎です。

これからの日光の前向きなまちづくりのための講演会になればと考えます。

みなさま、この機会に是非ご参加ください！！

NPO 法人日光東町みんなのまちづくり

講師紹介



志村直愛(しむら・なおよし) 東北芸術工科大学 准教授

◆専門分野／建築史、都市史、都市景観など歴史を軸とした建築/まちづくりに関すること

◆プロフィールと近年の活動／1962年、鎌倉市生まれ。「建築の歴史」を基軸としながら、建築調査からまちづくり支援まで、幅広く教育、研究活動を展開中です。

■ 歴史都市にふさわしい景観形成のあり方を探る…

激変する都市景観の中でも、歴史を伝える都市の役割は重要です。自国の文化を無理なく継承しながら快適な都市生活を実現するという課題を、故郷鎌倉、大磯といった近代期のまちを対象に、現状のリサーチをベースにそのあるべき姿を検証し、今後の新たなデザインコードの究明に取り組んでいます。

● 社会的活動：

鎌倉市景観デザイン委員会、緑政審議会委員、大和市街づくり推進会議会長職務代理、大磯町まちづくり審議会委員、横須賀市市民参加型事業研究専門委員他。京都造形芸術大学通信教育部非常勤講師

● 出版・執筆・メディア出演：

建築散歩 24 コース東京横浜近代編、東京建築散歩 24 コース（山川出版社）、歴史を伝える近代のたてももの（台東区近代建築調査報告書）、米沢出身の建築巨人伊東忠太の世界（山形新聞連載記事 64編）〔平成 17 年度米沢市芸術文化協会特別賞受賞〕、TBS テレビ「東京ウォーキングマップ」に散歩師として出演中

＜東北芸術工科大学教員紹介より抜粋＞